

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	スカウト	Lv.1:	シーフ	レベル	11
サポートクラス	レンジャー	Lv.1:	アルケミスト	性別	女
称号クラス				年齢	10
種族	アーシアン(ネヴァーフ)			境遇	大成功
出自(効果)	狩人			目標	無目的

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	13	23	20	9	21	9	6
ボーナス	4	7	6	3	7	3	2
クラス修正	1	3	0	0	2	0	2
他修正							
能力値	5	10	6	3	9	3	4

HP	97
MP	89
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ライフル	50m	3	15	0	0	0	0	0
左手									
頭部	グリーンベレー		1			1			
胴部	フェザーアーマー					9		1	
補助	クイックバンド							2	1
装身具	手入れ道具								
能力値			10	0	6	0	3	15	10
スキル	スペシャライズ、ウェポンフォーカス		5	10					
その他									
総計(右)			19	25					
総計(左)					6	10	3	18	11
総計(両)									m
ダイス数			5 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	9			9	+ 3 d
トラップ解除	10			10	+ 4 d
危険感知	9			9	+ 2 d
エネミー識別	3			3	+ 2 d
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ガンストック	
パウダーチャージ	
パウダーチャージ2	
ガンスコープ	
フォアグリッパ	
強化弾x2	
冒険者セット	
毒消し	
バックパック	
ハイMPポーション	

現在重量: 11 | 最大重量: 18 | 所持金: 17490 | 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
アーシアン: 転生	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	タイミングがメイキングのアーシアン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3							
スペシャライズ	5	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	選択した武器の命中とダメ+SL							
マスターハンド/ガンスミス	1		パッシヴ			-		
効果:	マスキット取得							
インタラプト	1		-				1/シナ	
効果:	対象の宣言したスキルを失敗							
オプションパーツ	5		アイテム					
効果:	銃部品SL個							
コンバージョン:ライフル	1		アイテム					
効果:	マスキットをライフルへ							
アームズマスタリー: 錬金銃	1		パッシヴ					
効果:	命中+1D							
ウェポンフォーカス	1		パッシヴ					
効果:	選択した武器のダメ+5							
ランナップ	1	3	セットアップ		自身	自動成功		
効果:	戦闘移動または離脱							
キャプチャーショット	3	5	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	射撃。1点でも通すと移動力-[SLx5] (最低0m)、マイナー解除またはシーン持続							
カリキュレイト	1	-	イニシアチブ		自身	自動成功	1/シーン	
効果:	即座にメインプロセスを行う。その後未行動に							
フルスピード	1	4	-					
効果:	移動時に使用。移動力+[SLx5m]							
バインドショット	1	3	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	射撃、1点でも通すと回避-1D/ラウンド持続							
シュアショット	1	4	マイナー					
効果:	射撃命中判定+1D,ダメ+[SL]							
リサイクル	1	8	-					
効果:	シーン終了時に矢弾回収							

戦術: 引き撃ち、後方火力、妨害。スカウトになってからが本領発揮。
距離を取って敵の前衛を足止め、または妨害する

--

パリソ同盟、カナンとラインの中程にある小さな村にシムナは生まれた。
村一番の狩人と鍛冶師の娘との間に生まれたハーフネヴァーフの子供は、聡明で手間がかからないと評判で、父親たちの狩りについて行っては可愛がられていた。

しかし8つになったシムナが祖父のマスキット銃を手にしたときから、彼女は神童と呼ばれるようになる。
自身の身長よりも大きな銃を手足のように扱う幼子は、小さな村には異質に過ぎる。
控えめな性格ながらも世話好きだったシムナは、村の年寄りから子供まで好かれていたが、その誰もが「勿体ない」と考えてしまった。
村一番の狩人の名が替わって程なくして、彼女は祖父の育った街カナンへと向かった。

シムナには前世の記憶がある。
猟師として育ち、家族と祖国のために軍人として戦い、そして晩年は愛する妻と犬たちと共に暮らし眠りについた、そんな記憶だ。
満足して眠りに身を委ねたはずが、目を覚ますと孫のような歳の女性に抱かれていたのは大層驚いたが、彼ーいや、彼女は深く考えずに受け入れることにした。

"長年"に渡る練習の甲斐もあり、狩猟の、特にライフルの扱いに長けたシムナは村で静かに過ごせば満足であったが、村の人々や元冒険者にして鍛冶師である祖父の「もっと世界をみるべきだ」という勧めもあり、祖父が以前拠点にしていた、機械の街カナンに向かうことにした。

--

